

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公表番号】特表2007-513127(P2007-513127A)
 【公表日】平成19年5月24日(2007.5.24)
 【年通号数】公開・登録公報2007-019
 【出願番号】特願2006-541996(P2006-541996)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 L 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 13/10

A 6 1 L 29/00 W

【手続補正書】
 【提出日】平成19年11月9日(2007.11.9)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ボツリヌス毒素の固体、半固体又は液状調合物を含む、膀胱痙攣によって特徴付けられる障害を治療するための医薬であって、膀胱壁への注射を用いない投与用であり、そして

—
 —患者の膀胱の好適な位置での噴霧によって投与されるためのスプレー調合物；又は
 —膀胱内で膨らまされるためのバルーンの外面上に拡散される固体、半固体もしくは液状ボツリヌス毒素調合物
 の形態である、前記医薬。

【請求項2】

前記障害が、不安定膀胱又は不安定排尿筋・括約筋による尿失禁、不安定排尿筋過活動又は不安定排尿筋・括約筋による排尿時合併症、痙攣性括約筋又は膀胱頸部肥大に次ぐ尿閉、及びパーキンソン病、脊髄損傷、卒中又は多発性硬化症に次ぐ神経性膀胱不全からなる群より選ばれ、かつ痙攣性反射運動によって特徴付けられる、請求項1記載の医薬。

【請求項3】

膀胱への注入によって投与するための液状又は半固体調合物である、請求項1記載の医薬。

【請求項4】

前記液状又は半固体調合物が20～80 mlの体積を有する、請求項3記載の医薬。

【請求項5】

ゲル調合物の形態である、請求項1記載の医薬。

【請求項6】

スプレー調合物である、請求項1記載の医薬。

【請求項7】

膀胱内で膨らまされるバルーンの外面上に拡散される固体、半固体又は液状ボツリヌス毒素調合物の形態である、請求項1記載の医薬。